

立憲主義・民主主義・平和主義を貫く政治を掲げた野党と市民の共同

府障教ニュース

参議院選挙の結果について 談話

大阪府立障害児学校教職員組合 執行委員長 戸田勝浩

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

「戦争法」廃止 明文改憲を許さず、 憲法9条を守り生かそう

7月10日投票で行われた参議院選挙で、自民党は55議席、公明党は14議席を獲得しました。また、教育無償化のための憲法改正等を掲げていたおおさか維新も、大阪選挙区で2議席を得るなどして7議席を獲得しました。この結果、衆議院だけでなく参議院でも、改憲を推進する勢力が3分の2を超える議席を確保しました。

一方、野党側は民進32・共産6・社民1・生活1議席を獲得しました。4野党が統一候補を擁立し、自民党との一騎打ちとなった全国32の1人区では11人が当選し、福島と沖縄で現職閣僚を落選に追い込みました。2013年の参議院選挙では、1人区で野党は2議席にとどまりましたが、今回はそれを大きく上回る結果となりました。

憲法違反の「戦争法」廃止、憲法に立脚して、教育やくらしなど、国民の切実な要求を実現する立場から、政治の抜本的な転換を実現しようと奮闘された皆さんに、心より敬意を表します。

最大の争点を語らなかつた安倍首相

今回の参議院選挙は、安倍政権による昨年9月の「戦争法」成立強行により、憲法にもとづく政治が当たり前という立憲主義が、根本から破壊された状況を正すかどうかが厳しく問われる中で行われました。「戦争法」は、日本国憲法が定めた戦争放棄・戦力不保

持の原則を破壊し、これまで一人の外国人も殺さず、一人の戦死者も出さなかつた自衛隊の歩みを覆す危険を現実のものにしています。自公で改選議席の過半数を上回ったとしても、依然として多くの国民は、「戦争法」の廃止を求めています。

安倍首相は「9条をはじめとする憲法改正」について、選挙前は「自分の在任中には成し遂げたい」とまで語っていましたが、しかし選挙が始まると、最大の争点は経済政策「アベノミクス」の加速だと述べ、改憲については語ることはありませんでした。それでいて選挙が終わったとたん衆参両院の憲法審査会で「改憲」について議論したいと発言しています。こんな不誠実なやり方は、一国のリーダーがとるべき道ではありません。

政治的立場を超えた共同が自公を追い詰める

今回の参議院選挙では憲法を守り、立憲主義・民主主義・平和主義を貫く新しい政治をつくらうという一致点で、野党4党と市民が政治的立場を超え、全国規模で初めて力を合わせました。街頭でも野党と市民の弁士が肩を並べ、勝利に向けて力を合わせてきたのが特徴です。

こうした民主主義そのものともいえる共同に対して、安倍首相は「政策も理念も一致しない。あまりにも無責任だ。私は野党だと言っている」と根拠のない批判を繰り返す。

「戦争法」廃止！安倍政権による 明文改憲を許さない運動を！

今回の参議院選挙によって、安倍政権は極めて強固な権力基盤を手に入れたことになりました。今後は自民党の改憲草案を基本に憲法改悪へ踏み出し、戦争法の具体化などを

しました。公明党の山口代表は選挙最終盤になって、今の憲法の国民主権、基本的人権の尊重、恒久平和主義、この三つの原理はこれからもしっかりと守り、大切にしていきたいなどと、自民党と同じ改憲勢力ではないと弁明せざるを得ませんでした。

出口調査の結果によると、無党派層の56%・公明支持層の24%が野党統一候補に投票しています。7月11日「朝日」の「戦争法」に反対した青年や女性、学者など市民の共同の力で、全国32の1人区のうち11選挙区で勝利したことは、日本の政治の未来に展望をひらくものとなったと言えます。

強引に進めてくることは確実です。

府障教は引き続き、「戦争法」の廃止を求め、安倍政権による明文改憲を阻止し、憲法9条を守り生かす運動に奮闘する決意です。

府障教ホームページアドレス <http://www1a.biglobe.ne.jp/fushou/>

Eメール アドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp



書記局の
ひとりごと

イラク戦争参戦を検証したイギリスの独立調査委員会が、イギリスは、平和的な選択肢を使い尽くす前に軍事介入を決めた」とする報告書を7月6日に発表しました。この調査委員会は、上院議員や歴史家等で構成され、2009年から7年かけて当時の関係者約1500人の聴取や政府資料の検証を行ってきました。報告書は約6千ページにも及ぶ膨大な量となり、軍事行動は最終手段ではなかつた」として、参戦を決めた当時のブレア首相(労働党)の判断を厳しく批判しています。

イラク戦争は、イラクによる生物化学兵器など「大量破壊兵器」の保有を口実として、2003年に米英主導で始まりました。開戦後、多くの一般市民を含む数十万の人たちが犠牲となり、イギリス兵197人・アメリカ兵4500人以上が戦死しました。結局戦後の調査でも、イラク国内で大量破壊兵器は見つからず、調査委員会のチルトコット委員長は「ブレア政権が欠陥のある情報」を持ち、正当化できない確信に基づき参戦を決めた」と指摘しました。

報告書の発表を受け、イラクのある大学教授は、過激組織ISはイラク戦争から現れた「米英が侵攻して世界からイラクにテロリストがやってきた」国の変革はその国の人々が成し遂げるもので、外国軍が行うものではない」とおびただしい人々を殺し、孤児をつくつた戦争をイラクの人々は忘れない」と語りました。当時の日本政府は、いち早く米英の判断を支持し、多くの国民の反対を押し切つて自衛隊をイラクに派遣しました。今改めてこの判断の真摯な検証が求められています。

府障教定期大会発言ダイジェスト(その7)

ライフキャリアの視点で合意作りを

豊中支援学校分会 中島代議員



昨年10月職会で「キャリアアプランニング・マトリックス」作成のためのPTが立ちあがりましたが、PTでは「キャリア教育って何?」というところから意見交換していくことができました。その中で、「キャリア教育はワークキャリアに偏るものではない」「人格つくりにつながるライフ

キャリアという視点を大事にしよう」などの共通認識を深めていたのではないかと思っています。大会議案書にも「キャリア教育」の問題で数値化があがっていましたが、まさに「マトリックス作り」だけを求めるとその危険に陥ります。キャリア教育観を、時間をかけてPTの中で論議し、小中校一貫の教育づくり・人格つくりにつながるようなライフキャリアの視点で全教職員

の合意作りに向かえればと思います。今年度、自分が担当している授業の話ですが、ある日生徒たちの「ホーラーソーレ!」という元気な掛け声が聞こえてきました。この授業は就労を意識してとりくまれ、私語は厳禁です。この雰囲気の中で、リズムカルで元気な掛け声を聞き、私の荒んだ心は元気になっていきました。労働歌とは、こいついつころから生まれてくるのだらうと思いました。自分から出てきた自主的な掛け声は、本当にかげがえの無い青年期の姿で、「これはやっぱり連帯感を育むのと違う?」等という話があ



大障教として発展することを願う

大手前校分会 西田代議員

きて、久しぶりに同僚と共感できたような思いでした。今、評価を書く時に『楽しむ』『味わう』はダメ』などの厳しい文言チェックを受けていますが、そういう生徒たちの姿は文章表記では限界があります。言葉で周りの教員たちと語り合うことで、本質的な子どもの見方を共有する財産を築いていけたらと思います。

個別の声かけなど、多くの組合員によるアプローチを通じて組織拡大に結びつくよう、引き続き奮闘したいと思えます。今回の発展的組織再編は、これまでの二つの教職員組合が歩んできた歴史的経過からも当然の帰結のように感じられます。私たちの先輩が大教組特殊支部として発足してから70年近くが経過し、府特教・市特教から府障教・市障教として60数年間運動をすすめてきました。1995年の府立富田林養護学校の向井腰痛裁判勝利までのたたかひや、2005年の大阪市立貝塚養護学校と寄宿舎の存続を求めたたたかひなど、様々な局面で府障教と市障教は、連帯し助け合っ

子どもの見方を教えてくれたのは先輩方

青年部 松石代議員



今年度、府立の支援学校には371名の方が新規採用者として赴任されました。職場の約半数を青年教職員が占めるという職場も珍しくなくなっています。たくさん

「いい授業がしたい」「子ども」のことをもっとよくわかったい」と思いながら日々奮闘しています。しかし同時に多くの青年が悩みやしんどさを抱えているのも事実です。職場の年齢構成のアンバランスさや、初任から3、4年目の人でも分掌部長や学年主任などの重要な役割を担うだけでなく大きな行事の主担をほとんど経験のないまま引き受けざるを得ないこともあります。

授業や子どもとのかわりをもっと学びたい時期に、それ以外の仕事が増え、ゆっく授業の準備が追いつかず自転車操業の状態になってしまい、気がつけばあっという間に学校が閉まる時間、という毎日を送っている方がたくさんいます。さらに、自分より後輩の初任者がどんどん入ってきて、若手が若手を育てる事を求め

られる実態にあります。また、パソコンに向かつて個人で仕事をやる時間が増え、ゆっくと子どもの話をする時間も取りにくい状態です。今年、私は初任から8年目になりました。初めて定期大会で発言したのが2年目で、初めて卒業生を出した次の年のことでした。そのころ、私に子どもの見方、捉え方を教えてくれたのは先輩の先生方です。

した。子どもの行動やその背景について、たくさん話をしました。また、組合の教研や学習会に連れて行ってもらって勉強させてもらいました。子どもとのかわりが楽しくなり、仕事が楽しくなります。ベテランの先生方には、ぜひ青年の先生たちと、たくさん子どもの話をしていたいだきたいです。教育のこと、子どものことを伝えていってください。

を求める運動を強めることが重要です。今回の発展的組織再編は、これまでの二つの教職員組合が歩んできた歴史的経過からも当然の帰結のように感じられます。私たちの先輩が大教組特殊支部として発足してから70年近くが経過し、府特教・市特教から府障教・市障教として60数年間運動をすすめてきました。1995年の府立富田林養護学校の向井腰痛裁判勝利までのたたかひや、2005年の大阪市立貝塚養護学校と寄宿舎の存続を求めたたたかひなど、様々な局面で府障教と市障教は、連帯し助け合っ